

エミール・ガレが魅せられた「森」と「海」に迫る！
「エミール・ガレ 自然の蒐集」展開催記念
さかなクン 1日館長に就任&「ガレの海」トークイベント
「さかなクンのギョギョッとアートなトークショー」
2018年3月24日(土) 13:00~14:15

ポーラ美術館（神奈川県・箱根町）では、2018年3月17日(土)から7月16日(月・祝)まで、「エミール・ガレ 自然の蒐集」展を開催いたします。本展覧会には、19世紀末に活躍したフランスのガラス工芸作家エミール・ガレの初期から晩年までの名品130点が集結します。

「森」を生命の象徴として捉えていたガレは作品に植物や昆虫のモチーフを多く用いていますが、神秘的な生命の源として「海」に深い憧れを抱き、クラゲやタツノオトシゴなど、海の生き物たちを作品のモチーフにしていたことはあまり知られていません。



そんなガレが関心を寄せた「海」について楽しく学べるイベントとして、さかなクン（東京海洋大学・名誉博士/客員准教授）がポーラ美術館の1日館長を務めます。また、ガレが作品のモチーフとして表現した海の生き物たちの生態を知り、海洋生物への興味、関心を深め、作品鑑賞をより楽しむことにもつながられるよう、イラスト解説を交えたトークショーを開催いたします。また、会期中はオリジナルの写真ボードを使用した撮影コーナーを設置いたします。当イベントにて、写真ボードの御披露目をし、さかなクンにサインをいただきます。



クラゲをモチーフにした作品
《くらげ文大杯》1898-1900年
サントリー美術館蔵（菊地コレクション）
©TAKESHI FUJIMORI



タツノオトシゴをモチーフにした作品
《花瓶「海馬」》1901-1903年
北澤美術館蔵

■イベント概要

【開催日時】2018年3月24日(土) 13:00~14:15
13:00~13:15 さかなクン 1日館長就任セレモニー
13:15~14:15 トーク&イラストドローイングイベント
「さかなクンのギョギョッとアートなトークショー」

【講師】さかなクン（東京海洋大学・名誉博士/客員准教授）

【会場】ポーラ美術館

【料金】無料（ポーラ美術館の入館券が必要）

【定員】要事前申込み 先着 180名

【参加方法】3月1日(木) 11:00よりサイト Peatix より申込

<http://polamuseum2018032401.peatix.com>

*3月1日(木)11:00よりアクセスが可能になります

■「エミール・ガレ 自然の蒐集」展 概要

植物学や生物学をはじめとする博物学的な知識と卓越した技術を駆使して、傑出した芸術作品を次々と生み出したガレ。自然界に存在するさまざまなかたちを見つめ、植物や昆虫、動物、そして海の生物といった数多くのモチーフを意匠化したガレの芸術制作は、自然を蒐集するコレクターになぞらえることができるでしょう。本展では、初期から晩年までのガレの優品を巡りながら、芸術家の創造の源泉であった「自然」を、「森」と「海」というふたつの視点から紹介します。

会 期：2018年3月17日(土)～7月16日(月・祝) (会期中無休)

主 催：公益財団法人ポーラ美術振興財団ポーラ美術館

特別協力：東京大学総合研究博物館

■入館料

	個人	団体
大人	1,800円	1,500円
シニア割引 (65歳以上)	1,600円	1,500円
大学・高校生	1,300円	1,100円
中学・小学生	700円	500円

* 料金はいずれも消費税込み

* 団体は15名以上

* 中学・小学生の入館については、土曜日は無料

* 中学・小学生が授業の一環として観覧する場合、中学・小学生および引率教員等の入館は無料

■ポーラ美術館について

2002年に神奈川県箱根町に開館。ポーラ創業家2代目の鈴木常司が40数年間にわたり収集した、西洋絵画、日本の洋画、ガラス工芸、古今東西の化粧道具など総数約1万点を収蔵。



<開館時間> 9:00～17:00 (入館は16:30まで)

<休館日> 無休 (展示替えのための臨時休館あり)

<所在地> 〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山1285

<TEL> 0460-84-2111

<公式サイト> <http://www.polamuseum.or.jp/>

<報道関係者お問合わせ先>

ポーラ美術館 広報担当：中西、平澤

TEL:0460-84-2111/ FAX:0460-84-3108/ MAIL:pr@polamuseum.or.jp

ポーラ美術館広報事務局：屋木、名取

TEL:03-4570-3172/ FAX:03-4580-9155/ MAIL:polamuseum.pr@prap.co.jp